※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 3028 |
|---|---|

# 令和５年度　教育文理科

| 教科 | 教育文理 | 科目 | Essay Writing | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 自主教材 | | | | | | |
| 副教材等 | CNN Workbook Extended Course 2023<br>Vision Quest スマートレクチャーコレクション | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ニュースを単に「知ること」で終わらせず、ニュースの内容に関して興味のあることを調査し、500 語程度の英語のエッセイとしてまとめて書きます。
・英語の語彙や文法、定型文をどのように使えばよいかをモデル文やクラスメイトの発表等を通して理解しながら学習を進めていきましょう。
・授業以外でも、図書館等を利用し、英語で書かれているインターネットのニュースや新聞、書籍などを読んで、英語の語彙や表現に触れることを習慣にしましょう。

## ２　学習の到達目標

ニュースの中から自分の興味の引く問題を見つけ出し、その問題について調べ、英語のエッセイを推敲して書く。推敲して書く活動を通して、よりよく課題を発見し、解決していくための資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）自分の考えや意見を、適切に表現するための英語の表現や語彙、文法を身につける。
（２）実社会や実生活と自己の関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、英語のエッセイとしてまとめ表現することができる。
（３）活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、物事に対する新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 自分の考えや意見を、適切に表現するための英語の表現や語彙、文法を身につけている。 | 実社会や実生活と自己の関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、英語のエッセイとしてまとめ表現することができる。 | 活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、未来の教育に対する新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を身につけている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | エッセイライティングのルール<br><br>「自分の興味のあることを伝えよう」<br>課題提出①<br><br>ニュース<br>Stage 1:<br>速さに慣れよう<br><br>ライティングトピック:<br>将来の目標<br>学校生活<br>スポーツ<br>情報化時代<br>環境問題 | ・英語のエッセイの書き方について学ぶ。<br><br>・「私の伝えたいメッセージ」というテーマで、調べ学習やクラスメイトとの意見交流を通して考え、自分の意見を英語で書く。推敲、リライトの後、夏季セミナーのスピーチコンテストに向けて、プレゼンの仕方を学ぶ。<br><br>親しみやすいトピックのニュースを聞き、その速さを体感し、耳を鳴らす。英文をしっかり理解した後、ゆっくりスピードの音声にあわせて一緒に音読する練習(オーバーラッピング)を行う。ペアワークで自分の考えを口頭で伝え、書く作業を通して考えをよりよくまとめる。 | a:英語のエッセイの書き方のルールについて理解している。テーマに必要な英語の語彙や表現を適切に用いて書くことができている。<br>b:調べ学習や意見交流から考えたことや気づいたことを活かして、自分の意見を書くことができている。<br>c:調べ学習や意見交流から考えたことや気づいたことを考察しながら活動に取り組むことができている。 | 小テスト<br><br>課題 | 発表<br><br>課題<br><br>観察 | 観察<br><br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 「日本の教育について」<br>課題提出②<br><br>「世界の教育について」<br>課題提出③<br><br>ニュース<br>Stage2:<br>ニュース内容を理解しよう<br><br>ライティングトピック:<br>文化<br>言語教育<br>社会<br>願望<br>科学技術 | ・大阪、日本の文化や教育の良さについて考える。<br>・10 年後の日本を想像して調べ学習やクラスメイトとの意見交流を行い、自分の意見を英語で書く(推敲②)。<br><br>・世界の文化や教育の良さについて考える。<br>・10 年後の世界を想像して調べ学習やクラスメイトとの意見交流を行い、自分の意見を英語で書く(推敲③)。<br><br>速さに慣れたらその内容を理解することをめざす。ナチュラルスピードでニュースの概要が分かることを目標にする。 | a:テーマに必要な英語の語彙や表現を適切に用いて書くことができている。<br>b:調べ学習や意見交流から考えたことや気づいたことを活かして、自分の意見を書くことができている。<br>c:調べ学習や意見交流から考えたことや気づいたことを考察しながら活動に取り組むことができている。 | 小テスト<br><br>課題 | 発表<br><br>課題<br><br>観察 | 観察<br><br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 発表<br>「10 年後の教育についての私の提言」<br><br>ニュース<br>Stage3:<br>世界に目を向けよう<br><br>ライティング<br>トピック:<br>健康<br>ビジネス | ・「10 年後の教育についての私の提言」というテーマで1年間繰り返し考え、完成したエッセイをもとに発表する。<br>・クラスメイト等の意見を参考にエッセイを推敲し、最終課題として完成する。(推敲④)<br><br>ニュースを何度も聞いて、自分の考えを配信できるようになるくらいまで英語表現を自分の中に取り込む。オーバーラッピングの練習に慣れたら、シャドーイングに挑戦するできるだけ分かりやすい表現で自分の意見を伝える練習をする。ペアワークでは相手の意見をよく聞き、その要旨を誤解されないように第三者に伝える練習をする。 | a:テーマに必要な英語の語彙や表現を適切に用いて書くことができている。<br>b:発表や意見交流から考えたことや気づいたことを活かして、自分の意見を書くことができている。<br>c:発表や意見交流から考えたことや気づいたことを考察しながら活動に取り組むことができている。 | 発表<br><br>課題 | 発表<br><br>課題<br><br>観察 | 観察<br><br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度